

裏子 Kotoura-San むすぶ

For Hatachakesou presents
2013 / April

Adult only!!





そんなに
コシコシしちや
ダメよ〜♪

あは!

おいしい
春香あー

はい!

ヤッ

ズズズ

1/4



おかえり
なさい!

ちゃんと……
お留守番
してたよ



ポッ



ただいま
春香



あ……えと……

—はい……



あはは
偉いぞ……

それでアレの
方はどうだった?



.....

がぁ

ズルッ

きちんと続けていたようだね

うふふう...

ほらっー
よく見せて
ごらん...

そうだ...
それで良いんだ

これじゃあ
まだまだ足り
ないな...

だがー

ねえーちよっと
真鍋くん!

なんスカ?
御舟先輩

なんスカじゃ
ないでしょ

琴浦ちゃんの
居場所は突き止め
られたの?

そんなの
まだっスよ

ちよっーそんな
言い方……!

3

……

この唇も…歯も

何もかもが全て
可愛いよ……!

理由は分からない
けど…心の中が何も
見えない人なんだよ…

強っ…
強いよお

そんな春香に
ご褒美だ

真鍋くん—
このおじさん
不思議なの…

こんな事初めて
だったからピツ
クリしちゃった

んはあつ!

そんな一気に
ダメええ!

それに…それにね

ズ
ズ
ズ



ちよっと
嬉しかったんだ...

もお...私っ...

ああアア...

アアアアッ!

ほっ...



ホントにもう
ダメエエ

おひっ!
出ひゃうよオオ

もう少しー
持つと思ったが
ここまでか…

ズッ
ズッ
ズッ

数回目にしては
上出来だよ…

ズッ
ズッ
ズッ

腰の力を
抜いてー

よしっー今度は
私の番だ！

グッ
グッ
グッ

えっ…？

ちよつ…
それは…

ガッ

ひゃあ！

春香のお〇んこは
こんなに綺麗じゃない
か…もっと見たいない

でも…だって…
恥ずかしい
よお…！

ダメえ……！
またそんな早く……

おいおい……

春香——
これからが

ズロ

そんなに
吸われたらっ……

もっともっと
気持ち良くなる為の
入り口だったろ……？

でっ……
でもお……

ほらっ
舌の先を擦り
合わせて……

気持ち良く
なる前に——

ズロ

あっ……

頭がおかしく
なっちゃうよオオ

ズロ



もうダメッー

んんんっ……

んぐーっ！



それでー
それでいいんだ



ご……ごめん
なさいっ……

おしっご……また
こんなにい……



こっちの方は
まだまだだが…

あはは…なんだ
言っても春香も好き
なんじゃないか…



この未完成な
要素が春香の良い
所だと私は思ってる

この人は私を
誉めてくれる…

あー

一緒に居て
くれる…

試していいかい？

春香—
そろそろ出来
るよね…？

私も…です

早く…春香を
感じたいんだ…

あわわ

おじさんの事—
多分好きだから…

あつ…あの…
ああ…!!

あつ



真鍋くんじゃ
ない男の人と……



ああ……男の人の
入ってくる……

んあああ……!



!

この身体に
流れてくる
冷たいもの……



なっ……何?

フッ
フッ
フッ



これって
おじさんの……



まさか……

んくっ……!

そっ—そうなんだ…
これはおじさんの心—
けれどただ純粹に快樂
だけを求める本能…!!

この人…最初から
私に対して何の
想いも感じてない…

自身の快樂を満たす為
だけに使用する道具と
しか見てないんだ…!!



そっか…

あっ…あっ…
あああ…!

感情が何も存在しな
かったら私にだって—

ズキ
ズキ

相手の心なんて
分からないよ…

んっ……

んっ……んっ
んっ……んっ

この人の肌から
直接流れてくる
本能はひたすら
私を求めて
くれている……!

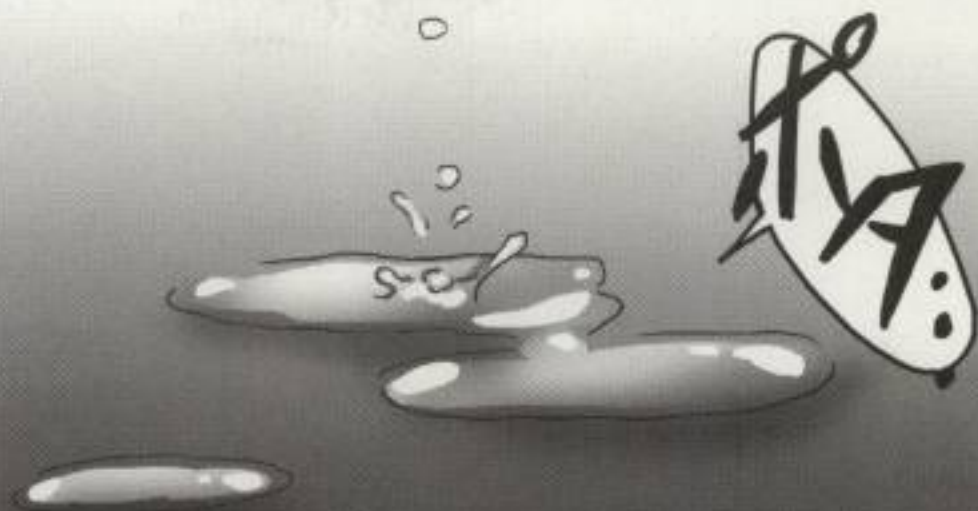
んっ……んっ

例えどんなカタチだって…
求められるのってやっぱり
心地イイよオオ…

おじさんの…

おじさんの
熱いのいっほい
出してええ…!!

真鍋くんー私
真鍋ともこういう事
したかったな…



真鍋くんに身も心も
求められたかったな…

だけど私の方から離れて
行った結果が今なんだよね…

きっとこれからもそうやって
私は生きていけるから…
どうか心配いなくてください

琴裏いり
今いまさん
Kotoura-San
さん

FOR Hatuchakesou presents
2013 / April

Adult only!!